

## 5月～8月に登録された団体のご紹介

### ■団体

菊良箏明会  
伊丹民踊協会  
整体LABOつくよみ  
あっぷりけブレイルーム  
おむすび広場運営委員会  
猪名川ヒメボタルの会

(敬称略)

### ■個人

石野 政治  
林 たか子 (368一さるやー)  
瀧川 桂子  
土方 理砂 (リフレッシュヨガ)  
清水 健三

(敬称略)

SNSで情報発信中！  
フォローしてね！



Instagram



ホームページ



X



Facebook

2026

9

VOL.06

# まちプラびより

小さなボランティア、みーつけた

## 広報お手伝いします

### チラシラックのご利用



個人・団体問わず  
登録している方は  
無料で  
ご利用できます。

### イベントや講座の 情報発信



Instagram・Facebook・X  
でも登録団体の活動を  
発信しています。  
より多くの方に知って  
もらうチャンスです。

### モニターでの情報発信



「まちプラモニター」では  
登録団体の情報を紹介。  
発信したい  
内容・写真・チラシ  
ご提供ください。

チラシの作り方やSNSでの発信の仕方など、広報に関するご相談はいつでもどうぞ。

お気軽にご相談ください

## 編集後記



ナデシコの花壇

まだまだ暑い日が続きますね。冷たいものを食べたり飲んだりする機会も増えますが、体調にはどうぞお気をつけください。

今年度から、「まちプラびより」の裏表紙で新たに登録された団体や個人の皆さんをご紹介します。

最近「〇〇さんから紹介されました」と、まちプラのカウンターを訪れてくださる団体も増えてきました。

まちプラの活動をより多くの方に知っていただけるよう、スタッフ一同、分かりやすい紙面づくりを心がけています。お手に取られた際は、ぜひ感想をお寄せください。

## 伊丹市立市民まちづくりプラザ

TEL：072-780-1234 / MAIL：[icm.puraza@gmail.com](mailto:icm.puraza@gmail.com)

〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 スワンホール 1階

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始

発行人 中山 光子 編集人 平岩 伊佐子

※本誌に掲載している内容は発行当時のものです。



「にぎちゃんのボランティア学習室（克塾）」の皆さん

## 登録団体インタビュー

### 大人、子ども、教える人、教わる人を越えた、 ふわっと丸い場をめざして

にぎちゃんのボランティア学習室（克塾）



毎週土曜日、市内の教会を会場に「にぎちゃんのボランティア学習室（克塾）」が開かれています。「家庭の事情などで塾に通えない子どもたちの力になりたい」と考えた代表の宮崎克也さんと、「そこに集まる子どもたちに、おにぎりを作りたい」と考えた澤田淳子さんの思いから始まった活動です。

2023年6月に始まった当初は月2回の開催でしたが、利用する子どもたちの人数も月に5人程度から現在は20人程度に増え、それに伴い、現在は毎週土曜日の午後4時から7時まで開いています。参加者にも変化があり、中学生・高校生が中心だった活動に、教会外で開催した『夏休み宿題お助け隊』などの小学生向けイベントをきっかけとして、小学生も参加するようになりました。今では勉強だけでなく、異年齢の子ども同士が交流できる場にもなっています。活動の特徴の一つが、午後5時半ごろに行われるロビーのソファでの『おにぎりタイム』です。炊きたてのご飯で作った一口サイズのおにぎりが、さまざまな味付けで用意されます。食事の時間は気分転換や交流の機会にもなっており、子どもたちの大切な居場所づくりにもつながっていると澤田さんは話します。また、この活動は教会を無料で利用しているほか、地域の方々からの寄付や協力によって支えられています。場所を提供している日本キリスト教団伊丹教会の山本一牧師への感謝は尽きないといえます。



▲『おにぎりタイム』で気分転換

▼学習する子どもたちと寄り添うボランティア



活動が続ける中で見てきたのは、経済的な理由だけでなく、学習習慣が身につけていないことや勉強への苦手意識を抱える子どもたちの多さでした。宮崎さんは、「小さな分かるを一緒に積みあげられれば。勉強が分からず、教室で座っているだけになってしまう子どもたちに、学ぶ意味を伝えたい」と話します。現在は5～6人のボランティア講師が、一人ひとりの状況に寄り添いながら学習をサポートしています。

より多くの子どもたちを支えるため、学習支援に関わるボランティアの募集にも力を入れています。現役ボランティアからは、「初めて参加した時から居心地が良く、受け入れてもらえる雰囲気があった」との声が聞かれます。こうした雰囲気は、宮崎さんが一方的に方針を決めるのではなく、スタッフ一人ひとりの考えを大切にしながら活動を進めていることも影響しているようです。

宮崎さんは「ただ、子どもたちの近くにいて、一緒に過ごし、少し悩みに寄り添ってくださるだけで大丈夫です。ボランティアをしていて、教えることほど教わることはないと思うとつくづく感じます。ボランティアは自分事なんだと思います」と話します。活動に関心のある方は、ぜひお問い合わせください。

連絡先：090-3943-1943（宮崎）

メール：katumaru912@yahoo.ne.jp

## NPO法人コラム「ボランティアってなに？」

お金を貰わずに働くことがボランティアだと誤解している人は、まだ多いようです。本来の意味は、「自発的な意思による活動」。ですから、交通費や食事代程度の薄謝を受け取っても構いませんし、「有償ボランティア」という言葉もあります。

また、「いくらボランティアでも、無責任では困る」と言う人も、少し頭を切り替えてはどうでしょうか。本来自発的な活動ですから、作業手順の説明などは

当然としても、指示や命令はできないのです。

大切なのは、「この活動なら損得抜きに手伝いたい」と、思っていたくこと。そうすれば逐一指示をしなくても、自発的に考え行動してくれます。そのためには、普段から団体内でミッションを共有しておくことが大切です。



市民まちづくりプラザ  
宮下 隆二

## 夏休み特別講座『親子ボランティア体験』

『NPO法人いたみ野良猫をふやさない会みゅうみゅう』『一般社団法人食deつながる』『美笑生&サラダドレッシング』の4団体にご協力いただき、小学生親子を対象としたボランティア体験を実施しました。福祉に限らない多様な市民活動に触れることで、子どもたちが地域課題について学ぶきっかけになればとの思いから開催しました。

各団体に1組ずつの親子が参加し、活動のお手伝いをしながら、その意義や地域の現状について話を伺いました。



保護猫譲渡会



食料配布会の準備



白杖体験

### PICKUP！ピンポイント講座 『市民活動に活かそう はじめての生成AI』



生成AIを学ぶ入門講座を開催しました。満席となり、生成AIに対する皆さんの関心の高さが伝わってきました。講座は基礎知識から始まり、生成AIと会話を楽しみながらプロンプト（指示文）作成に挑戦。そして、「ひまわり」をテーマにしたところ、参加者により「ゴッホのひまわり」や「普通のひまわり」の絵になり、生成内容の違いに驚きました。また、講師が参加者から活動の悩みを聞き取り、生成AIへ相談したところ、「中学生ボランティアを増やすには？」という問いに対して、具体的なアイデアを次々と提案。参加者から「その回答をコピーしたい！」という声が上がりました。

講座後には「わかりやすかった」「新しい活用方法が参考になった」などの感想が寄せられ、生成AIへの理解が深まり、活動への活用の広がりにつながるきっかけとなりました。

### PICKUP！団体活動訪問 コミュニティカフェ フルハウス



Instagram



『夏休み自由工作』にお邪魔しました。自宅とはまた違う環境の中、学生さんもボランティアで手伝いながら、親子で楽しく『くるくる貯金箱』を作っていました。コミュニティカフェ フルハウスは、「多世代が交流できる常設の居場所をつくりたい」という思いのもと、伊丹小学校区を拠点に活動しています。子ども向けのワークショップ、子育てや障がいについてのおしゃべり会、中高生を対象とした『勉強cafe』などを開催。また、他の団体との横のつながりを広げたいと考えており、さまざまなイベントをきっかけに、世代を超えて人と人がつながる場をつくっています。

代表の山口さんは、「違う活動をしている団体とも、もっとコミュニケーションを取りたい」と話されており、その積極的な姿勢が印象的でした。現在、一諸に活動していただけるサポーターを募集中！どなたでも気軽に参加できます。